

支援先団体名：NPO法人自然再生センター

最終報告

2022年 12月 13日



本日の流れ

1. 調査方針提案の確認（おさらい）
2. 調査結果の報告
3. 質疑応答・意見交換
4. スケジュールの確認
5. 資料

1. 調査方針提案の確認



調査方針提案の確認(おさらい)

【プロジェクトの目的】

認定 NPO 自然再生センターが目指す中海の自然再生に向けて現在取り組んでいる活動が、地域住民や参加者や支援者からどのように受け止められているのか、重要なステークホルダーからどのように評価されているのかをリサーチします。

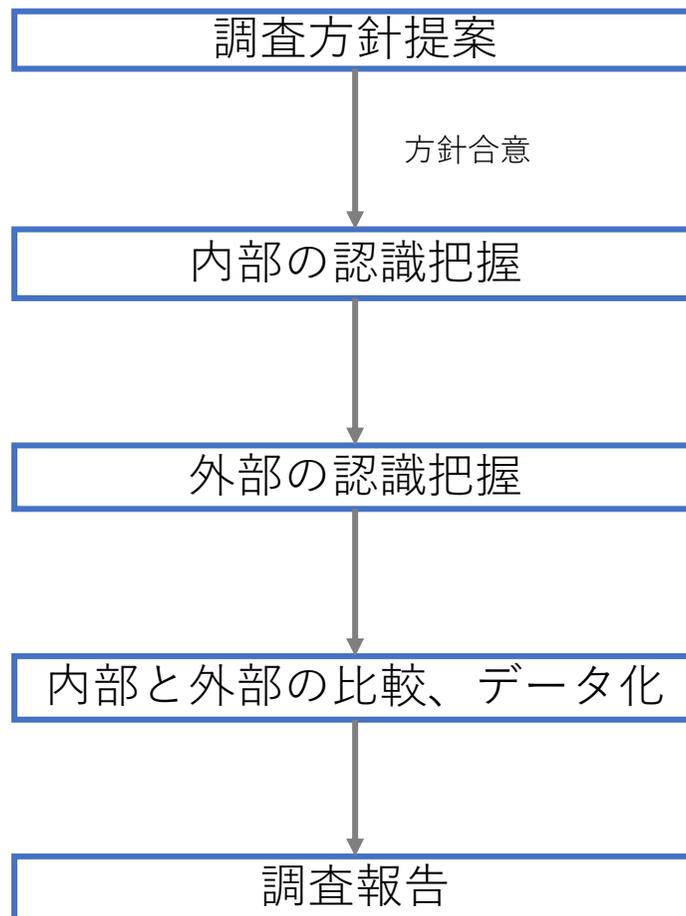
調査結果に基づき、現状の課題を整理するとともに、競合や類似団体との比較を行い、今後の事業展開に向けた必要な情報をまとめ、今後の事業戦略作成に使える資料を作成します。



- 現在の活動に対する現在の参加者、関係者から見た自然再生センターの現状、期待をアンケートやヒアリングを通じて確認します
- 理事へのヒアリング、アンケートは自己評価を確認するために行います
- 自然再生センターの自己評価と関係者の評価を比較します
- アンケートの質問内容やヒアリング項目は、調査前に事前に情報共有します

調査方針提案の確認

- 調査方針提案では、成果物を作成するための「調査設計」を以下のように提案しました。



2. 調査結果の報告



アンケート調査概要

関係者の認識把握のためアンケート及び個別ヒアリングを行いました

- アンケート
 - 期間
 - 10/16～11/9
 - 対象人数
 - **64名**
- 個別ヒアリング
 - 期間
 - 10/19～11/18
 - 対象人数
 - 理事 4名
 - 理事以外 7名

ご協力いただきありがとうございました！！

アンケート：回答者属性 1

関係者の属性、年代で満遍なく回答を得ました

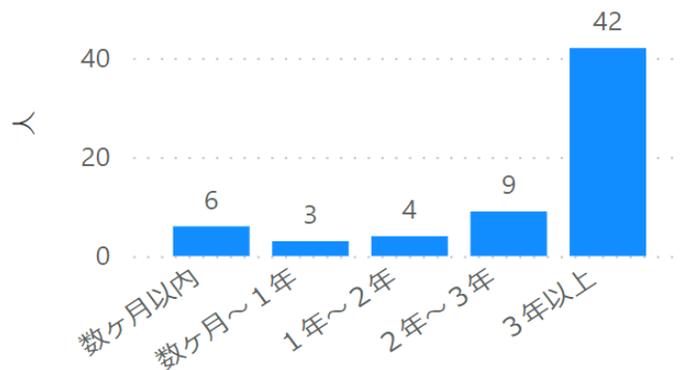
回答者数

64

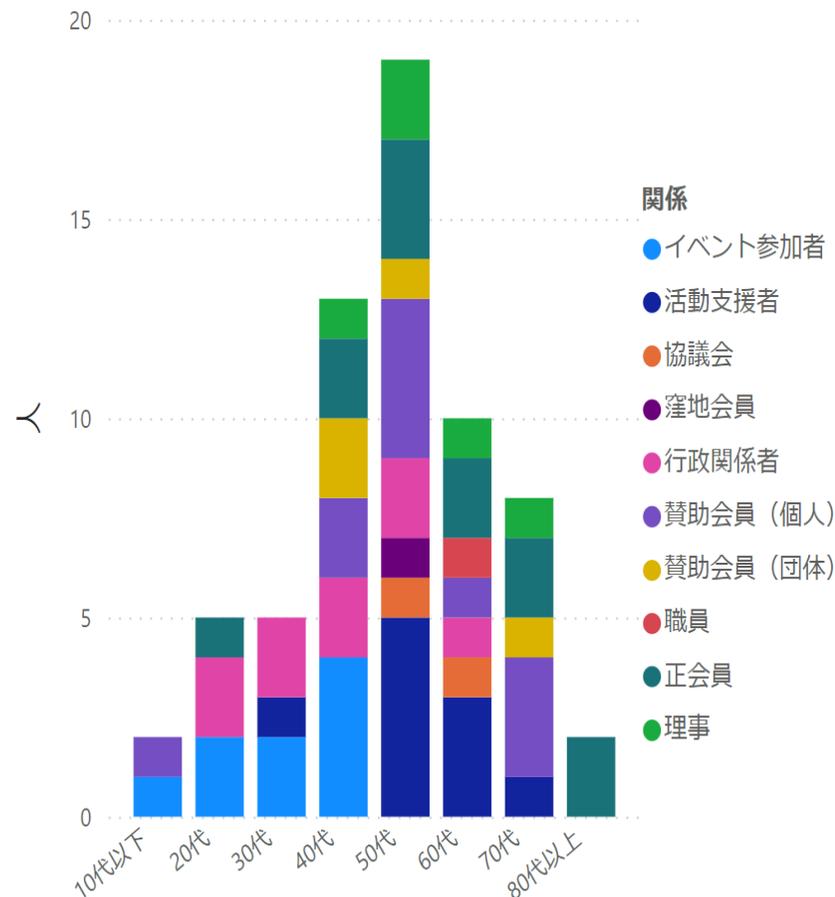
性別 ● その他 ● 女性 ● 男性



センターとの関わりの期間



属性と年代



● イベント参加者 ● 活動支援者 ● 協議会 ● 窪地会員 ● 行政関係者 ● 賛助会員 (個人) ● 賛助会員 (団体) ● 職員 ● 正会員 ● 理事



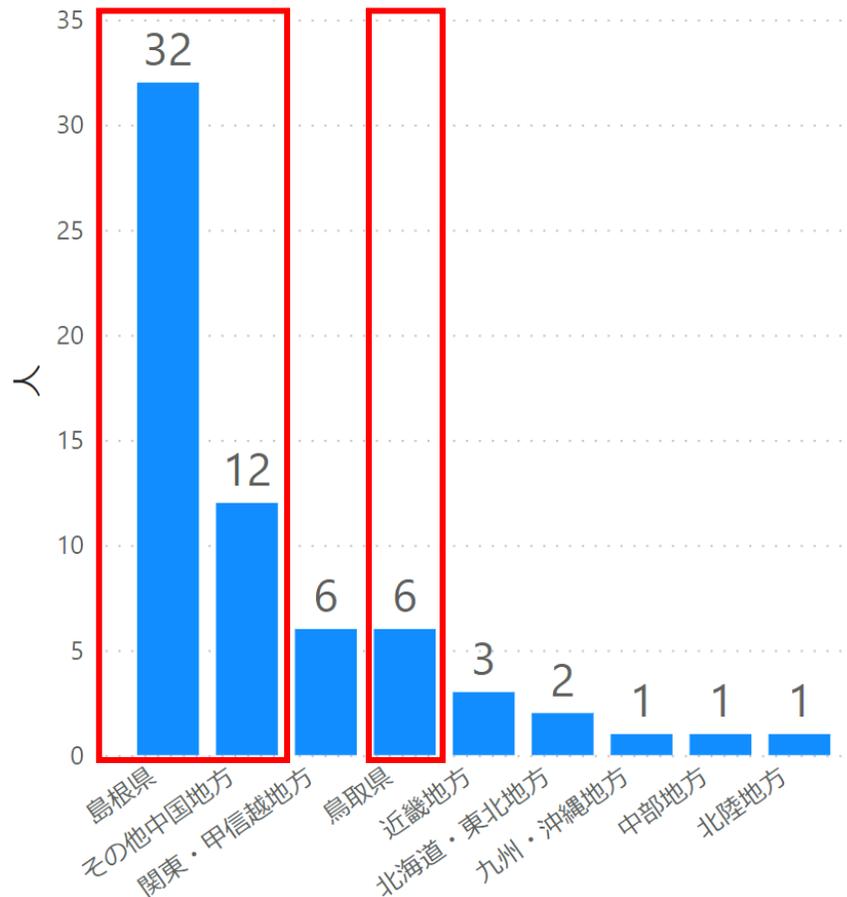
● 10代以下 ● 20代 ● 30代 ● 40代 ● 50代 ● 60代 ● 70代 ● 80代以上



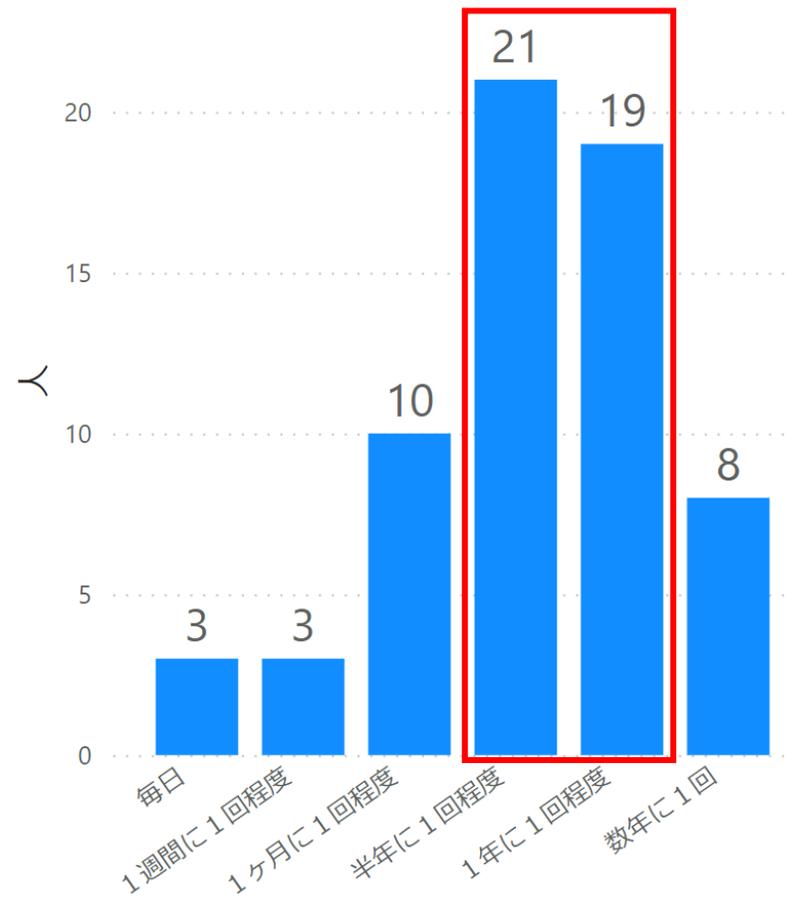
アンケート：回答者属性 2

島根及び中国地方居住者が大半、関わりは半年～1年/回が多い

居住地

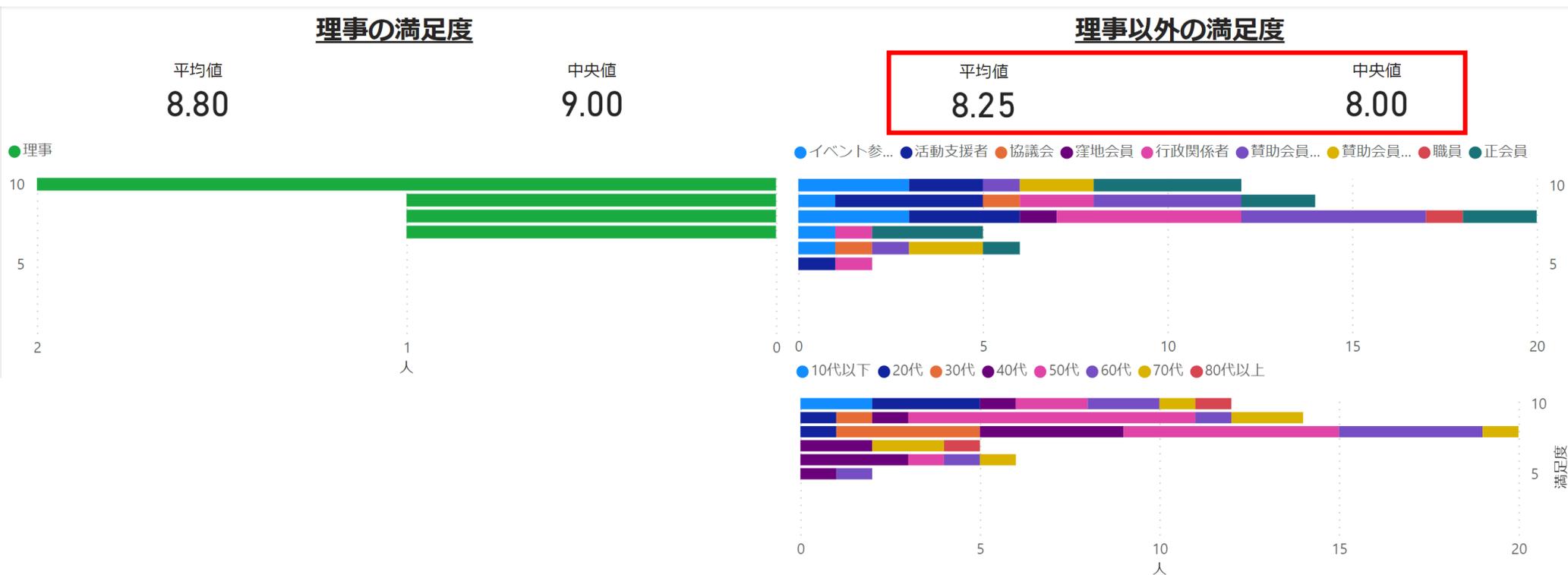


関わりの頻度



アンケート：自然再生センターへの満足度

理事以外の関係者平均で8.25と高い満足度となっている



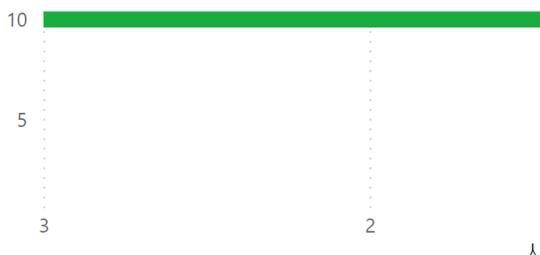
アンケート：自然再生センターへの親しみ

満足度同様、親しみを感じる割合が高い

理事がセンターに感じる親しみ

平均値 9.40
中央値 10.00

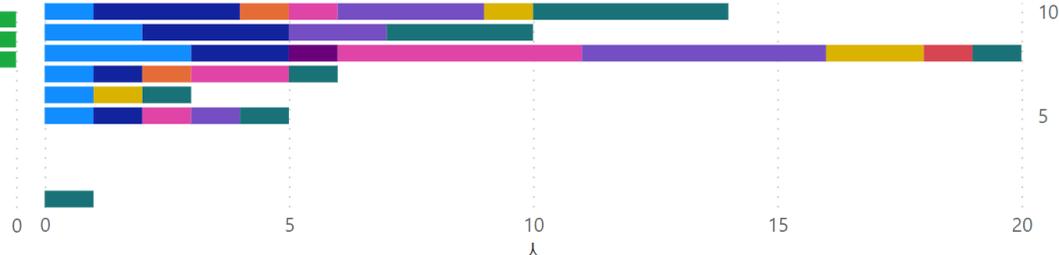
●理事



理事以外がセンターに感じる親しみ

平均値 8.07
中央値 8.00

●イベント参... ●活動支援者 ●協議会 ●窪地会員 ●行政関係者 ●賛助会員... ●賛助会員... ●職員 ●正会員



- **理事の人柄**に対して親しみを強く感じている
- 親しみを感じている内容は多岐にわたっているが、**地域に密着した活動**に親しみを感じている人が多い
- 協議会を通じてセンターの活動が行政にも伝わっているが、関わりとしては浅いように感じる

アンケート：自然再生センターの強み

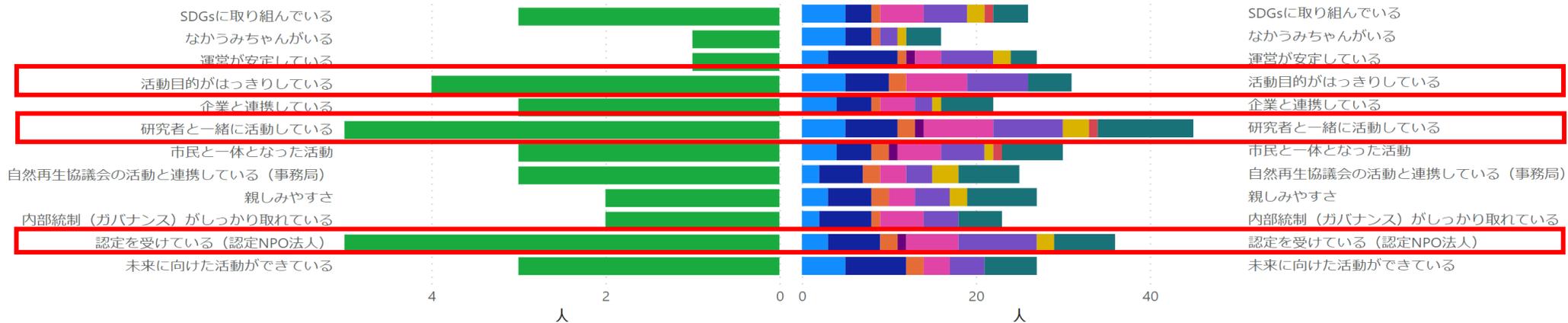
理事とそれ以外の関係者で強みの認識が一致

理事の思う強み

理事以外の思う強み

●理事

●イベント参加者 ●活動支援者 ●協議会 ●産地会員 ●行政関係者 ●賛助会員（個人） ●賛助会員（団体） ●職員 ●正会員



- ・ トップ3の理由が一致しており、強みをアピールでき、それが伝わっていると感じる
 - ①研究者と一緒に活動していること
 - ②認定を受けている（認定NPO法人）
 - ③活動目的がはっきりしている

アンケート：イベントへの満足度

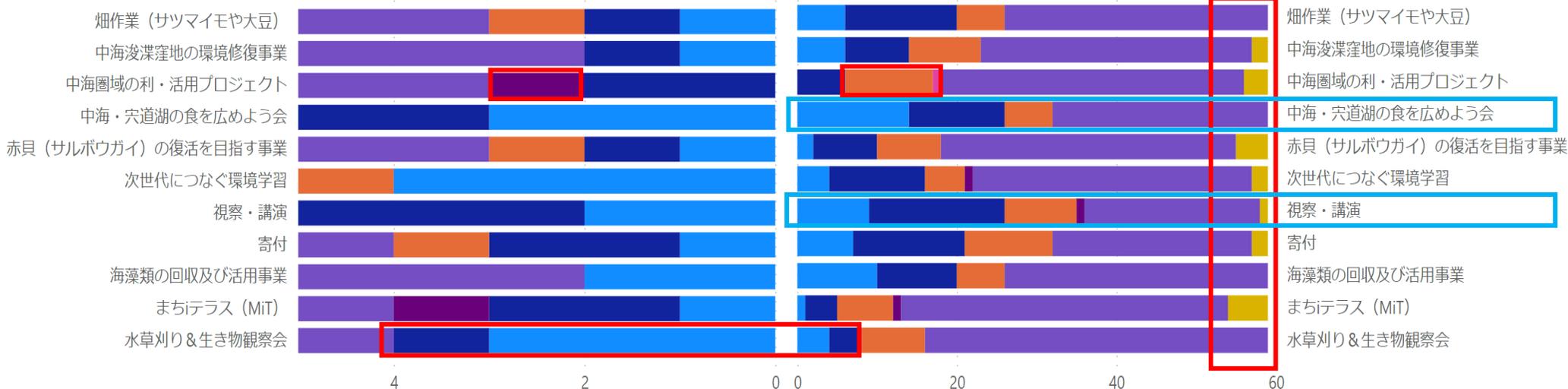
参加の有無に関わらず各種イベントへの認知度が高い
参加イベントに対しての満足度は概ね高い

理事のイベント感想

理事以外のイベント感想

●非常に満足 ●満足 ●普通 ●不満 ●参加していない

●非常に満足 ●満足 ●普通 ●不満 ●とても不満 ●参加していない ●イベントを知らない



- ・食を広めよう会、視察・講演への参加率／満足度が特に高い
- ・利活用プロジェクトの満足度が相対的に低い。
理事が満足していない理由を深掘りすることで満足度を高められる可能性があると思う
- ・水草刈りは理事と理事以外の評価の違いが見られる

アンケート：希望イベント

中海, 環境, 子ども / 子供といったキーワードが多い



<コメントの例>

- 中海の環境が良くなっていることを実感できるような体験イベント
- 複数の異なる学校の先生や生徒が環境保全や環境学習に関わるイベント
- 継続した活動(地域・子どもが参加できる交流の場)

アンケート：自然再生センターのイメージ

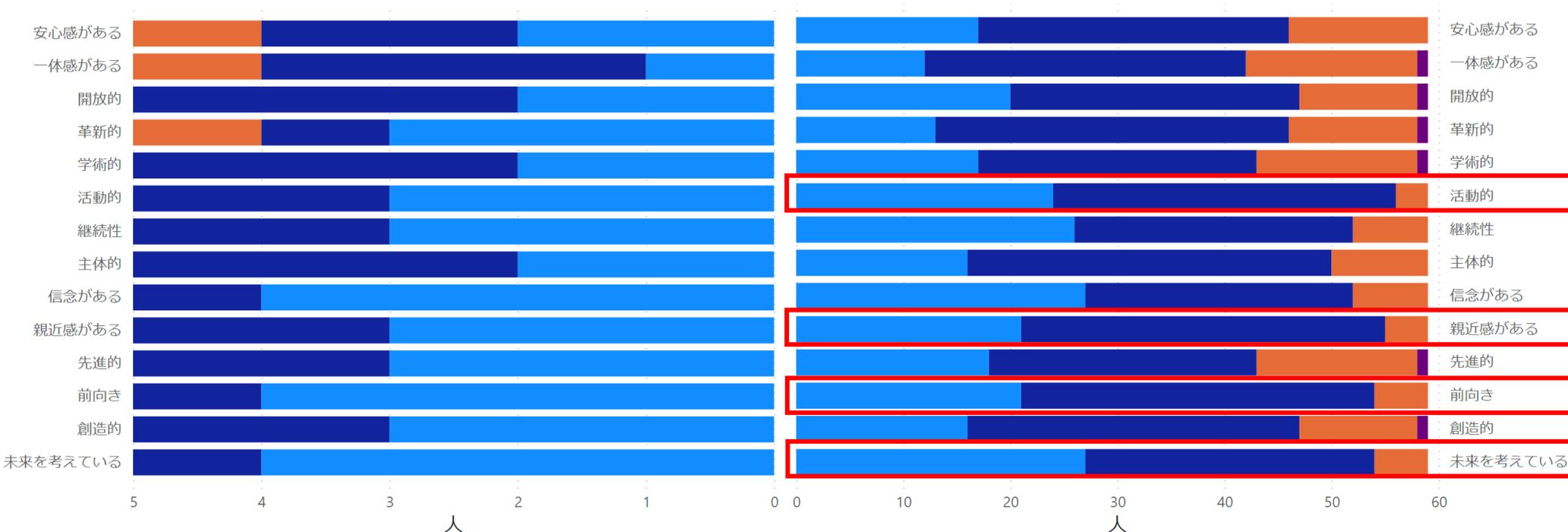
活動的、未来を考えている、親近感がある、前向きの高当率

理事のイメージ

理事以外のイメージ

●とても当てはまる ●当てはまる ●どちらでもない

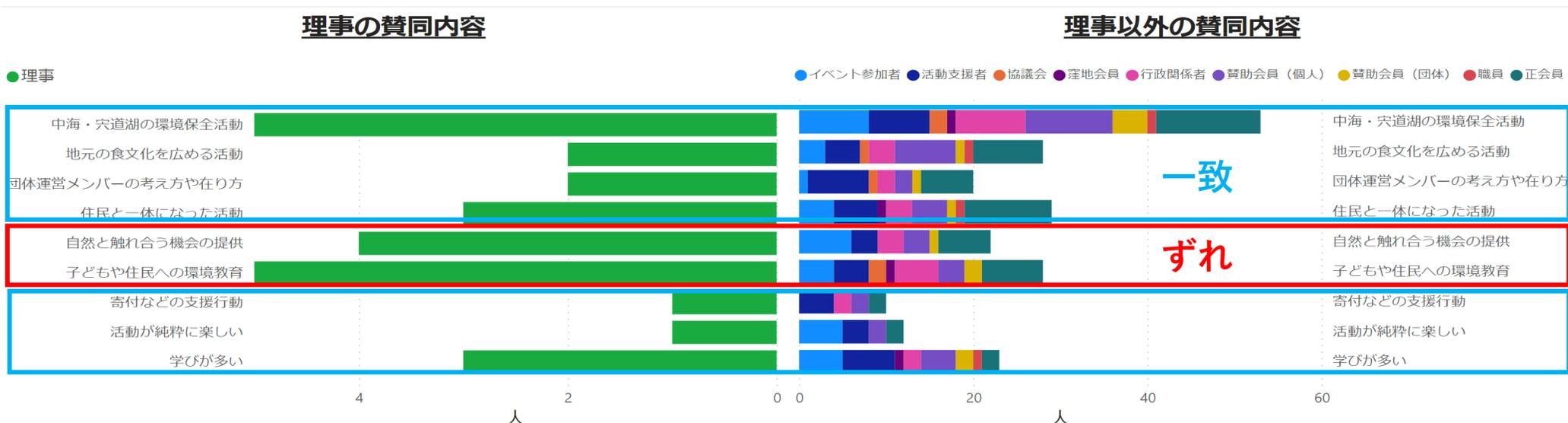
●とても当てはまる ●当てはまる ●どちらでもない ●当てはまらない



・理事と理事以外の認識はおおむね一致し、方向性や姿勢が伝わっていると感じる

アンケート：自然再生センターに賛同すること

理事、理事以外で一致する内容、若干ずれがあるものがある



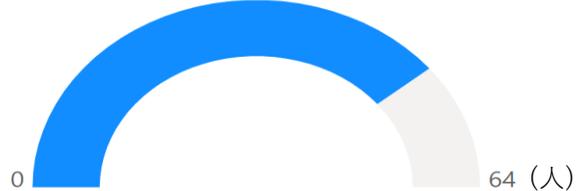
- ・理事と理事以外で、自然と触れ合う機会の提供、子どもや住民への環境教育の結果が異なった。
ずれている要因の深掘りが必要と感じた。

アンケート：協議会への理解（理事以外）

自然再生センターが協議会の実施者、事務局と知っているのは8割、
5年毎の計画立案・事業推進の認知度は5割、全く知らないのは1割程度

理事以外の協議会への理解

協議会の実施者であることを知っている



協議会の事務局を担当していることを知っている



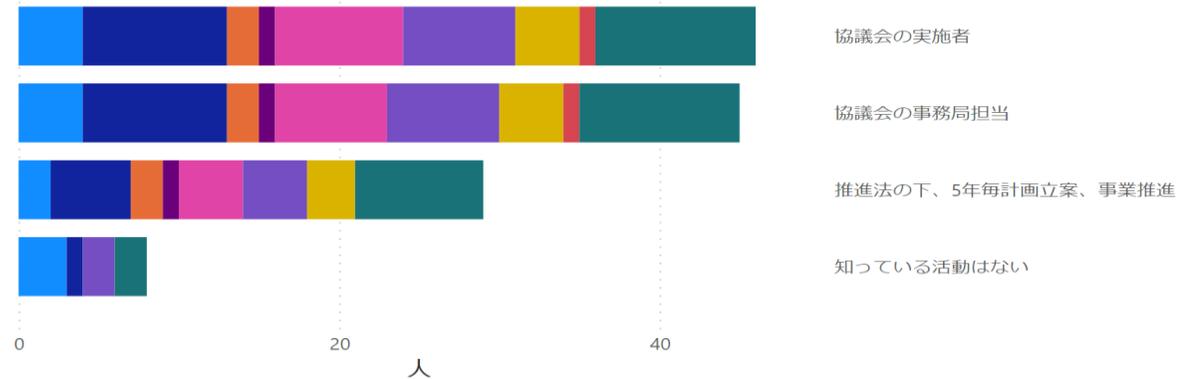
推進法の下、5年毎に計画立案し事業推進していることを知っている



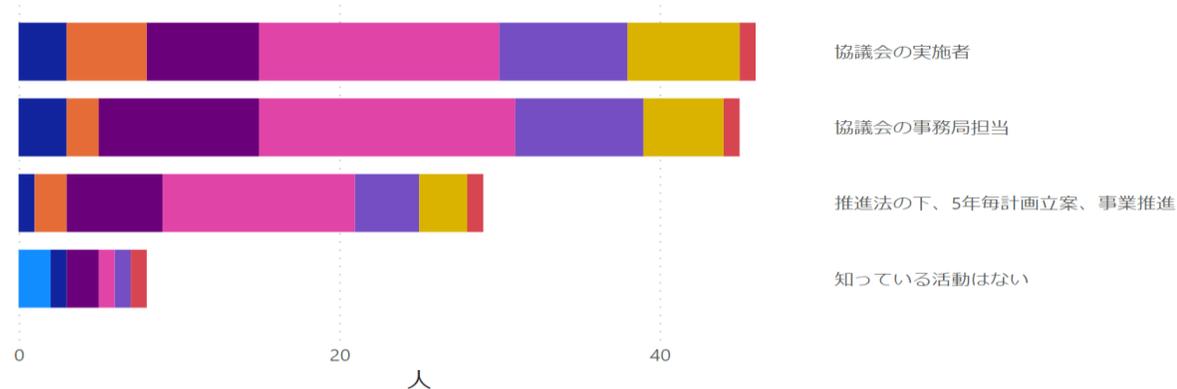
上記3点を全く知らない



● イベント参加者 ● 活動支援者 ● 協議会 ● 産地会員 ● 行政関係者 ● 賛助会員（個人） ● 賛助会員（団体） ● 職員 ● 正会員



● 10代以下 ● 20代 ● 30代 ● 40代 ● 50代 ● 60代 ● 70代 ● 80代以上

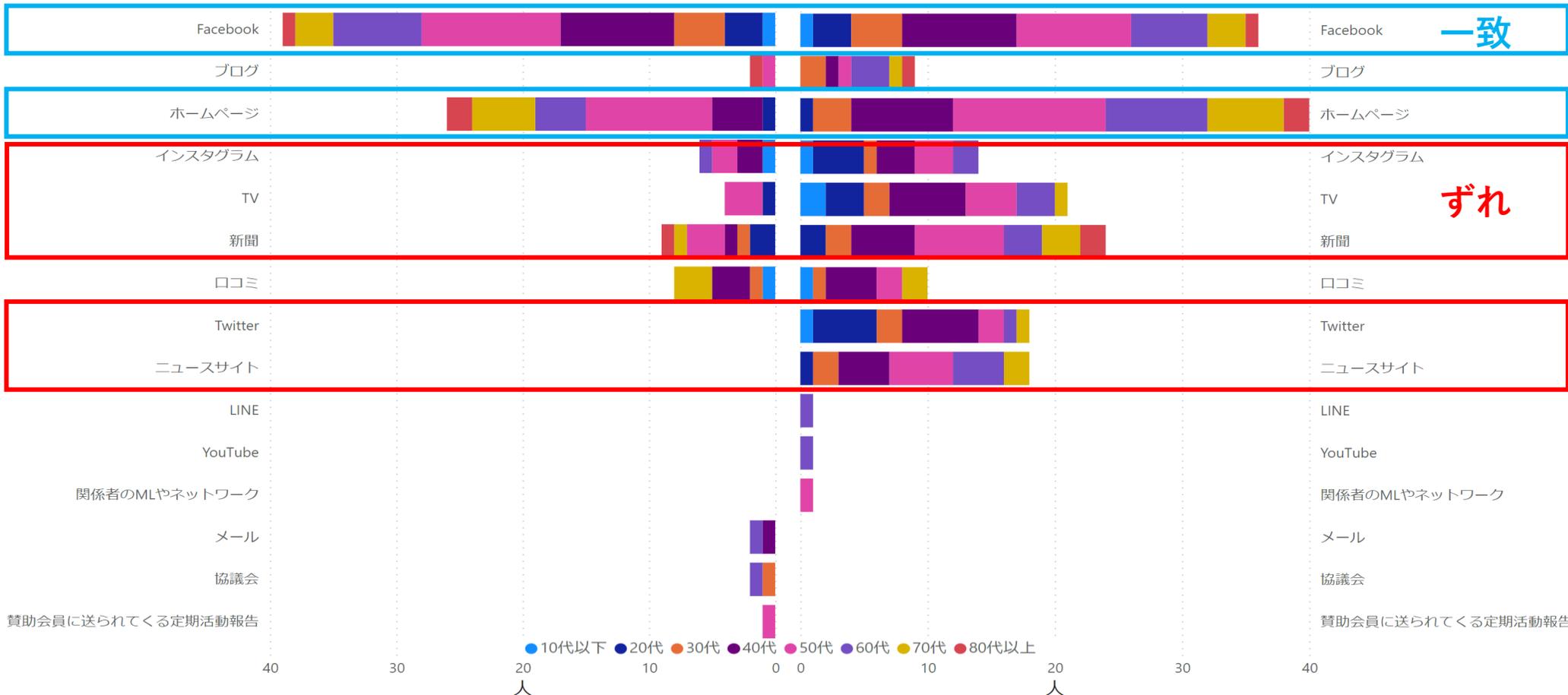


アンケート：情報収集する媒体比較（理事以外）

自然再生センターに関する情報取得と普段利用する情報取得手段が一致(Facebook/HP)
 インスタグラムやTV,新聞, Twitter, ニュースサイトを情報取得先としている人が一定数いる

自然再生センターの情報を得る手段

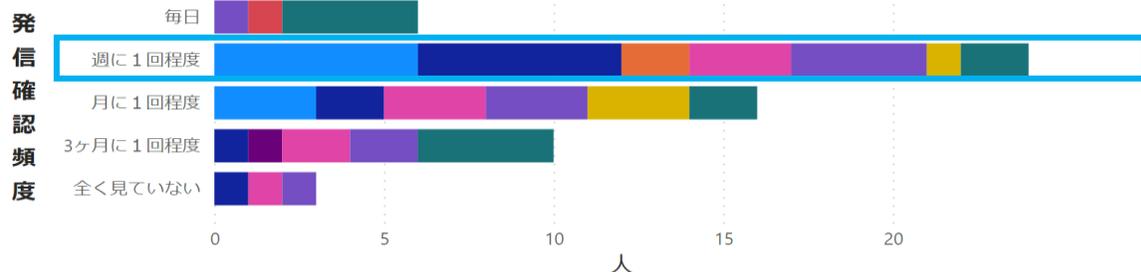
普段利用する情報取得手段



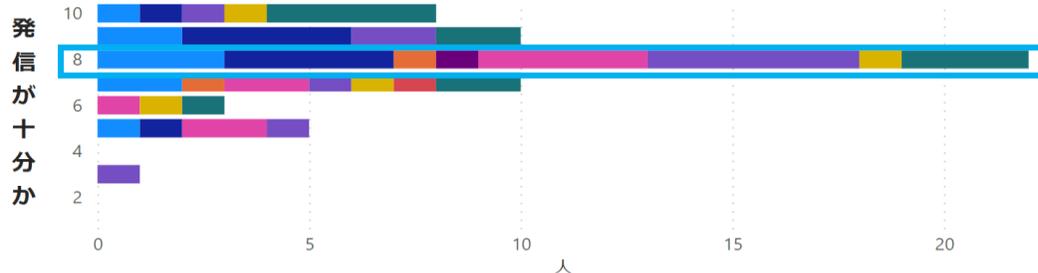
アンケート：発信に対する受け止め（理事以外）

自然再生センターからの各種情報発信のチェックは週1回の回答が最多
 発信の量、質では評価8が多い

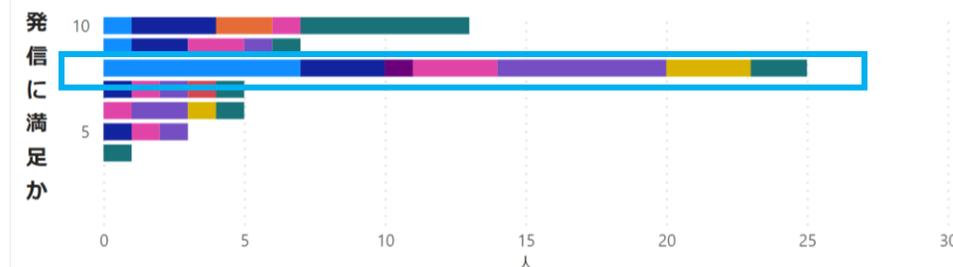
● イベント参加者 ● 活動支援者 ● 協議会 ● 産地会員 ● 行政関係者 ● 賛助会員（個人） ● 賛助会員（団体） ● 職員 ● 正会員



● イベント参加者 ● 活動支援者 ● 協議会 ● 産地会員 ● 行政関係者 ● 賛助会員（個人） ● 賛助会員（団体） ● 職員 ● 正会員



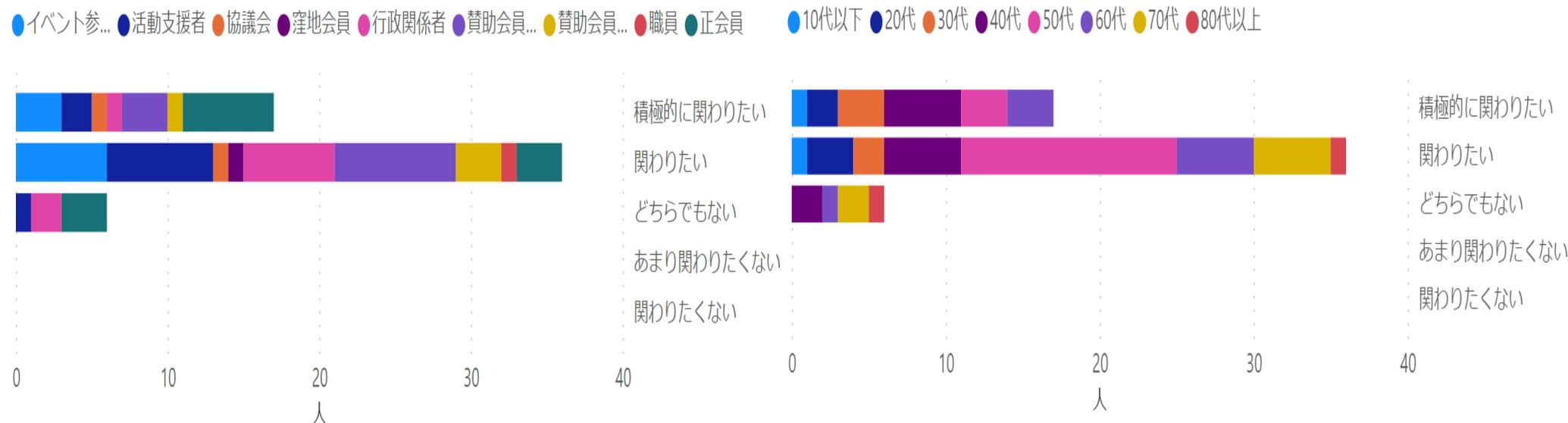
● イベント参加者 ● 活動支援者 ● 協議会 ● 産地会員 ● 行政関係者 ● 賛助会員（個人） ● 賛助会員（団体） ● 職員 ● 正会員



- ・日々のFacebookでの発信がセンターの明るく開かれた雰囲気、活動していることを伝えられている
- ・研究成果をわかりやすく伝えてほしいという声もある
- ・センターの発信頻度が多いので、特に見てほしいメッセージが目立つと良い

アンケート：今後の関わり（理事以外）

今後も自然再生センターに関わりたい割合が高い



- ・活動が楽しい、今後も学びたいとの意見が多く、イベント参加者の学習意欲が高いと感じた
- ・コロナ禍で遠方在住のためイベント参加を断念している人も多く、今後の状況に応じてイベントの開催方法も考えていく必要がある

アンケート：今後関わりたい理由（理事以外）

楽しい, 学ぶ, 出来る, 参加, 一緒といったキーワードが多い



<コメントの例>

- 中海の自然再生に今後も携わっていきたいため
- 宍道湖中海の自然環境に関わる代表的なNPOとして支援したいから。
- 活動の理念等に共感を持つため。活動が楽しいものであるため
- 楽しいから、生きがいになるから

アンケート：いい関係のために必要なこと（理事以外）

イベント, 人, 交流, 参加といったキーワードが多い

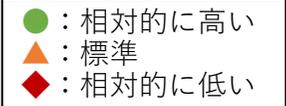


<コメントの例>

- 「中海・宍道湖の食を広めよう会」のような機会はとても大切だと思います
- まずはどんな人がなぜ自然再生センターで活動しているのか、理解できるといいなと思います
- 異業種の人たちが一緒にできるイベント（会議やフォーラムではない野外活動がいいと思う）
- 地元の人達との接触 研究者との交流 関連企業との交流
- オープンに交流・議論・情報交換ができる仕組みや雰囲気維持に対する意識と継続

アンケート：関係者別データ（評価一覧）

活動支援者の評価が相対的に高く、行政関係者の評価が低い



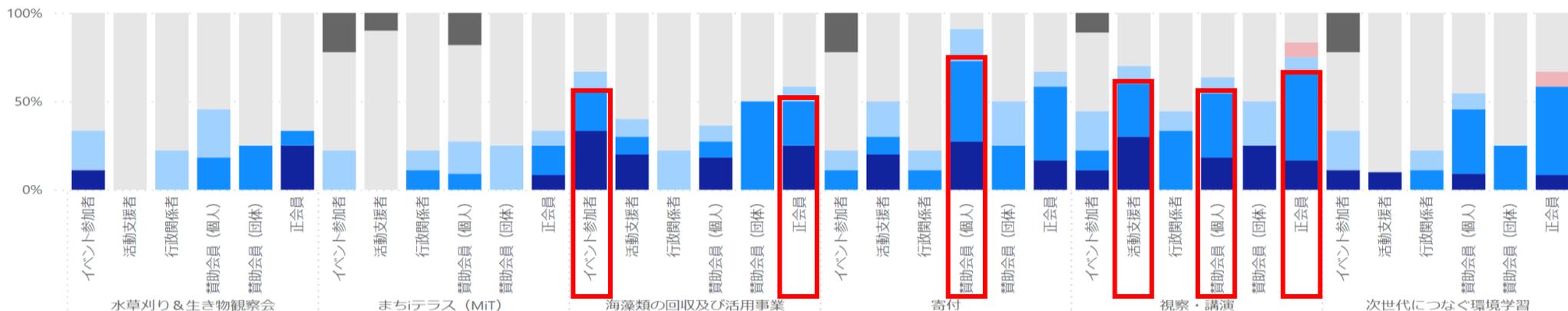
関係	満足度の平均	親しみの平均	発信十分度の平均	発信満足度の平均 [▽]
イベント参加者	● 8.44	◆ 7.78	▲ 7.89	● 8.33
活動支援者	● 8.50	● 8.50	● 8.30	● 8.40
行政関係者	◆ 7.78	◆ 7.67	◆ 6.89	▲ 7.78
賛助会員（個人）	● 8.36	● 8.45	▲ 7.55	◆ 7.36
賛助会員（団体）	◆ 8.00	▲ 8.00	▲ 7.75	◆ 7.50
正会員	● 8.42	◆ 7.83	● 8.50	● 8.50

・行政関係者で関わりが短い方が5をつけており、相対的に評価が低くなっている

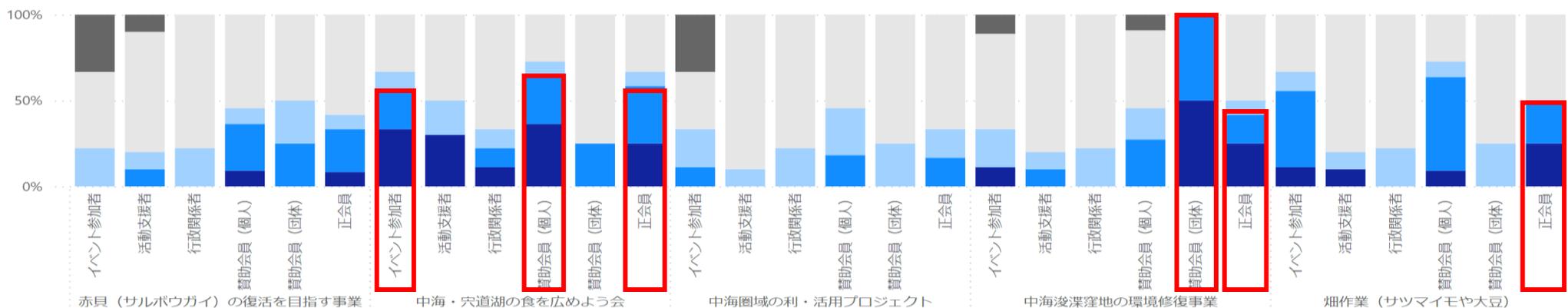
アンケート：関係者別データ（イベント別）

赤枠のイベント、関係者にて認知度、満足度とも高い

評価 ●非常に満足 ●満足 ●普通 ●不参加 ●参加していない ●イベントを知らない



評価 ●非常に満足 ●満足 ●普通 ●不参加 ●参加していない ●イベントを知らない



自然再生センターへの評価ポイント（関係者別）

関係者の属性によって評価する切り口に傾向が見られる

属性	評価ポイント	満足度	強みトップ3	賛同トップ3
正会員	地元の人、研究者、専門家などそれぞれとの 交流や関わり	認定NPOでありNPOとしてのレベルが高い	1. 研究者と一緒に活動 2. 親しみやすさ 3. 認定NPO法人/市民一体/協議会と連携	1. 中海・宍道湖の環境保全活動 2. 住民と一体になった活動 3. 地元の食文化を広める活動
賛助会員	安定した活動基盤の中で中海・宍道湖の 環境保全に関わることができる	中海を考える活動に関われるため	1. 運営が安定 2. 活動目的が明確 3. ガバナンスがしっかり取れている	1. 中海・宍道湖の環境保全活動 2. 地元の食文化を広める活動 3. 学びが多い
イベント参加者	イベントを通じた自然、参加者、センターの 一体感	スタッフとの連携がうまくいっている	1. 活動目的が明確 2. 研究者・企業と連携できている 3. 親しみやすさ	1. 中海・宍道湖の環境保全活動 2. 住民一体となった活動 地元の食文化を広める活動 3. 環境教育、自然体験の機会提供
活動支援者	センターの 組織運営からの学びの質、量 （支援者が運営するNPOのお手本）	- (特徴なし)	1. 運営が安定 2. ガバナンスがしっかり取れている 3. 未来に向けた活動ができています	1. 中海・宍道湖の環境保全活動 2. 団体運営メンバーの考え方や在り方 3. 学びが多い
行政関係者	取り組みの 幅広さ、頻度、量 活動における センターと市民の一体感	着実に取り組みの充実が図られている	1. 研究者と一緒に活動 2. 活動目的が明確 3. 認定NPO/ガバナンス/市民と一緒に	1. 中海・宍道湖の環境保全活動 2. 子どもや住民への環境教育 3. 自然と触れ合う機会の提供 地元の食文化を広める活動 住民と一体になった活動

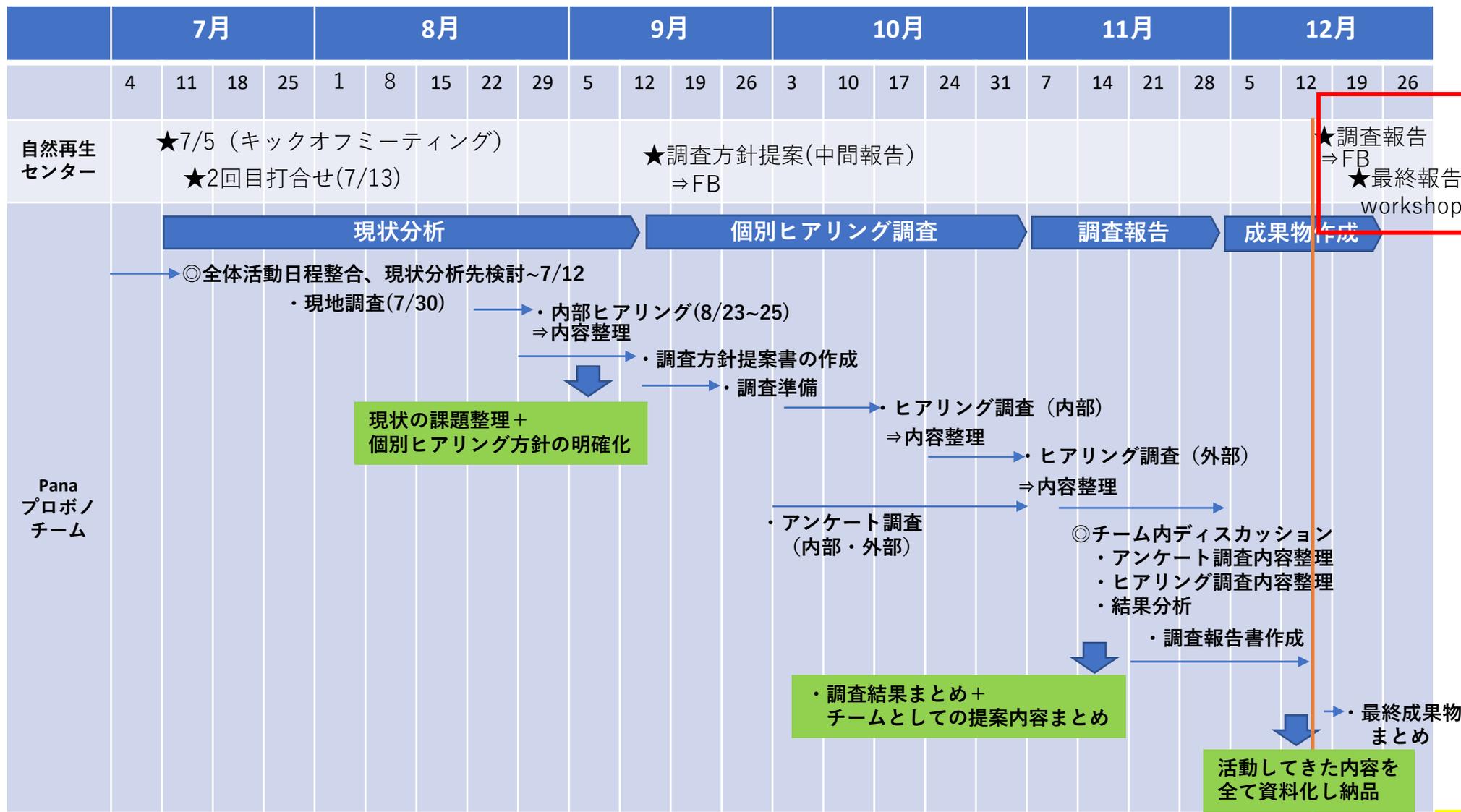
3. 質疑応答・意見交換



4. スケジュールの確認



スケジュール



5. 資料



アンケート：今後実施してほしいイベント

海草を肥料としての利用を継続してください。今もしていますか。もうしこみほうほうは？

畑で取れた野菜を使った料理教室

自然再生センターが培った認定NPOとしての実績や方向性を他のNPOたちの道しるべとなるような講演会等

地元との体系的な活動が必要では

中海浚渫凹地研究会の催し、また環境修復事業（中電）の結果測定複数の異なる学校の先生や生徒が環境保全や環境学習に関わるイベント

自然とのふれあい

継続して、畑作業は関わりたいと思った。

新たな繋がりを創出できるような場

広島で認定NPOになるコツ

継続した活動（地域・子どもが参加できる交流の場）

中海の環境が良くなっていることを実感できるような体験イベント
現在お休み中の「中海・宍道湖の食を広めよう会」です。

藻刈りと堆積物の攪拌

中海・宍道湖の地域エリアで、資源・社会経済活動・人材ネットワーク・情報や知恵が持続的に循環していくことに繋がる活動。現在の取組もそれを目指していると認識。中でも、水草・オゴノリの回収と農業・綿花栽培・地域物産開発と販売の循環を目指しているプロジェクトに期待。

あらゆる人が気軽に参加できる事業の拡大

オンラインの講演会（なかなか島根まで行くのは難しいので）

これからも子供たちの未来を考えたイベントを継続して実施いただきたい。

宍道湖の再生にも力を入れて欲しい

くぼ地環境修復に関するシンポジウムや討論会

行政が進める中海会議との情報交換

多海藻堆肥化・畑活動の意義は非常に強く強く賛同するのですが、故郷を離れて中海に焦がれているものとしては、中海で生き物をとったり観察したり船乗ったり泳いだり、やはり「海そのもの」をプリミティブに体験できるイベントに参加したいな、と。また海に触れるイベントも子供向けの体験が多い気がする（それは全く正しいと思うのですが！）、親子連れでない単身ではなかなかに参加しづらく…。団体の活動の方向性としてはよく理解できるので、ただの個人的なワガママです。あとは、やっぱり科学的なお話が聞きたいです。

地元の人達と研究者の交流。

食の会のような、ゆるい場

広い視点にたった学術的講演会

他の団体とかのコラボイベント

レンズ池再生

圏域でのSDGsを切り口とした環境教育

オゴノリングの活動にまた参加してみたいです。

アンケート：自然再生センターとそこに関わる人が 良い関係になるためには、何があるといいと思いますか？

異業種の人たちが一緒にできるイベント（会議やフォーラムではない野外活動がいいと思う）

信頼関係

一緒に参加できる活動

スタッフの方々の人となりがわかるイベント（具体的には思いつきませんが、、、）

場

コロナ禍で難しいが、交流の場が重要

中海の水質浄化について、湖内対策として効果が期待できる対策は現実性が低いものと考えています。できることとできないことをはっきり言い合える関係づくりが重要かと思います。センターのお話しではないかもしれませんが、一部の協議会メンバーの方が議員への要望活動もされるような状況はあまり望ましいと思いません。

参加しやすいイベントで親近感を得られるといいと思う。

双方向のコミュニケーション

双方をつなぐ「何か」があればいいのではないのでしょうか。

「中海・宍道湖の食を広めよう会」のような機会はとても大切だと思います

中海が見える公園とそこにBBQ等で大勢が集まれる屋根付きのオープンスペース

オープンに交流・議論・情報交換ができる仕組みや雰囲気の維持に対する意識と継続。オンライン等で遠隔地に住んでいる鳥取・島根県（中海地域）出身の方にも取組を知ってもらい、参加できる仕組みづくりと活動。

積極的な情報発信と、良いイベント

現時点で良好な関係を築けていると考えます

学びと有用感謝

定期的なスクール等の開催（学びとお楽しみの組み合わせ）

WIN xWINの関係、宗教っぽくないものの価値観の提供

共通認識 課題共有

今のままでも十分と思いますが、自然再生センターの魅力をもっと多くの活動実践者・団体に知ってもらえたらと思います。

定期的なミーティング、お茶会等による意見交換会の開催

知り合いがいない人でも参加しやすい内輪っぽくない雰囲気、個人的には嬉しいです

①地元の人達との接触。②研究者との交流。③関連企業との交流（とくに、中国電力の石炭灰の活用事業との関係）

楽しさ

先端的な学術的情報発信が常になされているとよいと思う

情報発信と直接対話

中海という自然そのもの

すでに皆さん良い関係であると思いますが、交流会や学会等を通じた対面での関わり。

自然再生センターに関わっている人たち全員で食事会

どんどん地域に出かけてください。

仲良くなれる機会の提供

まずはどんな人がなぜ自然再生センターで活動しているのか、理解できるといいなと思います。「人」の想いが見えるとそれが関係性のベースになると私は思っています。

（人としてあやしさを感じると関係は築きにくいので。）

センター中心でなく関わる人中心となること

毎年恒例の活動やセミナー等

アンケート：自然再生センターへの要望

専門家と市民のかけはしとなる事を期待しております。

中海についての驚くようなお話を教えてください。

①研究者、企業に対する中立性を保って欲しい。②地元の人達に対する啓蒙（とくに水質）が必要。

従来の実績をふまえて次世代への橋渡しが円滑にできることを期待しています

このまま続けてください。

今後も引き続き積極的な情報発信をいただければと思います。いつも情報楽しみにしております。

これからも活動を通して、中海の再生に関わらせてください

10代、20代の若者が参画できる企画があるといいですね

先進的な取り組み、活動をもっと知りたい。

これからも自然再生協議会の見本となるような活動の継続をお願いします

未来を担う子ども達がみんな元気に希望を持って生きていけるような社会づくりに、一層貢献していただければありがたいです。

継続的な資金の確保、持続的な活動ができる人材の確保

センターを知ってもらい理解してもらうため、関わる子供たちや教育機関が増えていけばいいなと思います。また難しいと思いますが、堀川など夏に水草が繁茂しているところにセンターが関わり、収益に繋がる何らかの活動に繋げていければいいですね。

近くの市営駐車場をリーズナブルに使用できる松江市支給の割引券配布

今後も色々と情報を教えてください。

第三期事業に向けて、行政を巻き込んだ事業活動の推進をお願いいたします。